

## 情報表現基礎 1・演習 課題通信【Fクラス】

2000・10・05

課題説明会

2000・10・12

制作・展示

2000・10・19

スケッチ  
リフレクション

2000・11・09

新課題・開始日  
\*各自休暇中に  
指定のモチーフ  
を収集して、授  
業に出席するよ  
うに。  
B・B 20の鉛筆  
カッター  
を各自で準備

2000・11・16

2000・11・30

2000・12・07

新課題・開始日

2000・12・14

2000・12・21

2001・01・11

新課題・開始日

2001・01・18

2001・01・25

2000・02・01

2000・02・08

全体講評会？

2000・10・5

この課題通信は、情報アーキテクチャ学科 1年の情報表現基礎 1・演習【Fクラス】で行われるプロジェクトをサポートするために発行されます。

情報表現基礎 1で各自が得てほしい事  
【プロセスはクラス毎に違う】

1. 観察力
2. 好奇心
3. 伝えることのコ

授業の流れ（毎回ほぼ同じスタイル）  
プリーフィング（今日は何をするのか?!）

各自の制作実践

リフレクション（何を学び、試みたのか反芻する）

## Folly!

今回の課題名前は Folly!

follyとは何か？

添付の資料やインターネットも使って、自分なりの理解を試みる必要がある。

基本的な素材は？

【下記のモノは供給されるもの】

1. ストロー
2. ポリフィルム 1800mm×100m 0.05mm厚
3. 押さえモール 木製（通称：VP棒）

各自でカッターやセロテープを用意し、素材の接合や切断の工夫をすること。

【上記以外で必要と思うモノは各自のアイデア】

どんな条件で作るのか？

各自の体を包めるほどの大きさであること。

作品自体に自立性があり、移動が可能であること。

その作品が何を表現し、何を伝えるのかを見に来た人に説明できること。設置場所は 1階であること。

制作プランをスケッチと文字で表現し、制作過程を記録すること。

follyには誰が作っているのかがわかるように何らかの表示が工夫されていること。

Folly

n. 愚かさ; 愚行; 愚作] 不品行; 巨費を投じた無用の建物[事業]

Installation

一般的に設置することを意味する普通名詞であるが、70年代以降「絵画」や「彫刻」といった指示句では一括できない作品を指示する際、多く用いられるようになった用語である。

この言葉の出現の経緯は、R・モリスにより提示された、インティメイトとパブリックの中間まで遊べるべきであろう。要は作品の成立において、それが作品の内的な関係によってなされるのか、作品と作品を取り巻く外的な要因との相互の関係によってなされるのかという問題である。

こうした議論の一方で、M・フリードの「芸術と客観性」においてモリスをはじめとするミニマリズムへの批判として議論がなされ、問題を提示している。当然のことながらこうした議論はミニマリズム以降のアースワークやポスト・ミニマリズムにおいても重要な問題として機能した。特にこの時期より活発化した、作品とサイト・スペシフィシティとの関係といった議論に沿って制作される作品群を語る過程で、ジャーナリストが事後的にインスタレーションという用語を使用し始めたものと考えられている。

[http://www.dnp.co.jp/museum/nmp/artscape/artworlds/artworld\\_en/trance.htm](http://www.dnp.co.jp/museum/nmp/artscape/artworlds/artworld_en/trance.htm) より

Site Specific

美術作品が「特定の場所に固有する」性質を示す用語。とって、美術作品にとって「特権的な場所」であるはずの美術館の機能を補完するのではなく、逆に批判するために用いられることが多い。展示空間全体をひとつの作品に見立てる「インスタレーション」や、「ミニマリズム」の純粋形式に対する反発として登場した「プロセス・アート」、公共空間における美術作品の意味を問う「パブリック・アート」といった新しい表現形態の本質とは不可分の関係にあり、1980年代末から90年代初頭にかけて台頭したこれらの形態は、作品の「場所」や「構造」といった問題を問いつけることになった。なお、場所の唯一性を意味するということ言えば、歴史の経緯は異なるものの、現象学的な問題を共有する建築用語「ゲニウス・ロキ」との類似性を指摘することができる。

[http://www.dnp.co.jp/museum/nmp/artscape/artworlds/artworld\\_en/trance.htm](http://www.dnp.co.jp/museum/nmp/artscape/artworlds/artworld_en/trance.htm) より

川俣正

ARTSCAPE

次ページは「本日することの流れ」